

授業科目 老年看護学実習 III

【担当教員名】 袖山 悦子 他		対象学年	3	対象学科	看護
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	○	
【概要】 患者は、健康について専門的判断を必要とし外来を訪れ、入院あるいは外来通院し、健康を回復していくが、健康問題が生じやすく、外来受診率が高くなっている。そこで高齢者に対する外来看護の役割と機能を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 受診行動に至った高齢者・家族の不安を知る。 2. 診察・検査時の高齢者及び家族への外来看護の役割・機能を知る。 3. 高齢者の健康に対する思いを知る。 4. 高齢者を尊重した態度で接する。 					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	1. 学内オリエンテーション	1～4	演習		
2	2. 外来看護の留意点	1～4	外来看護師による講義・外来看護師によるオリエンテーション		
3	3. 実習	1～4			
4	4. 実習	1～4			
5	5. まとめ		カンファレンスを通して学びの共有する		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		写真でみる整形外科外来看護のテクニック	渡辺病院看護部・リハビリテーション科	メディカ出版	2008・2,100円＋税
		変わりゆく外来看護	日総研グループ編	日総研出版	2000・3,780円
		実践的外来看護システムの導入と実践	日総研教育事業グループ編	日総研出版	1997・2,940円
その他の資料					
【評価方法】 実習評価表で60点以上及び出席が実習時間の4/5以上であること。		【履修上の留意点】 実習内容については変更の可能性があります。			